



# 給食会だより

第110号

〔公財〕川崎市学校給食会



〒210-0004 川崎区宮本町6番地(明治安田生命ビル4F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

早いもので今年度も残り一ヶ月ほどとなりました。今回は、川崎市小学校学校給食教育研究協議会の模様を中心にお伝えいたします。

## 第40回川崎市小学校学校給食教育研究協議会

平成28年1月20日(水)午後、会館とどろきにおいて、第40回川崎市小学校学校給食教育研究協議会が開催されました。この研究協議会は次のような主旨や経緯の中で行われているものです。

子どもの健康な心身を育てていくためには、「生きる力」の源の一つである食生活を見直し、よりよい食習慣が身につくような食育の推進を図っていくことが急務とされています。本市の食に関する指導については、文科省より出された「食に関する指導の手引」を参考にしながら、生きた教材である学校給食を有効に活用しつつ、栄養教諭・学校栄養職員による関連教科や特別活動等の授業への参加で進められています。

主催者(川崎市立小学校特別活動研究会・高山幸治会長、川崎市立学校栄養研究会・濱田浩一会長、川崎市学校給食会・山田雅太理事長)と来賓代表(川崎市教育委員会健康教育課・邊見るみ子担当課長)のあいさつの後、研究発表がありました。川崎市立小学校特別活動研究会の高橋明香先生(所属・南河原小学校)が「豊かな食生活を送るためのめあてをもち、進んで生活に生かそうとする子どもの育成～いろいろたべて、げんきいっぱい～」をテーマに発表されました。

川崎市立小学校特別活動研究会では「学校給食を通して、望ましい食習慣と豊かな心の育成をめざして」を研究主題にして、研究に取り組んでいます。今回は、学級活動(2)の「キ 食育の観点で踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」の内容で、1年生担任の高橋先生の授業実践でした。本時目標は「いろいろな食べ物を食べると健康によいことを知り、自分のめあてをもって食べようとする。」と設定されています。資料提示の工夫として、子どもたちがわかりやすいように3色の食べ物のはたらきと体の関わりを結びつけた紙芝居が活用されました。右下にその一場面を例示します。



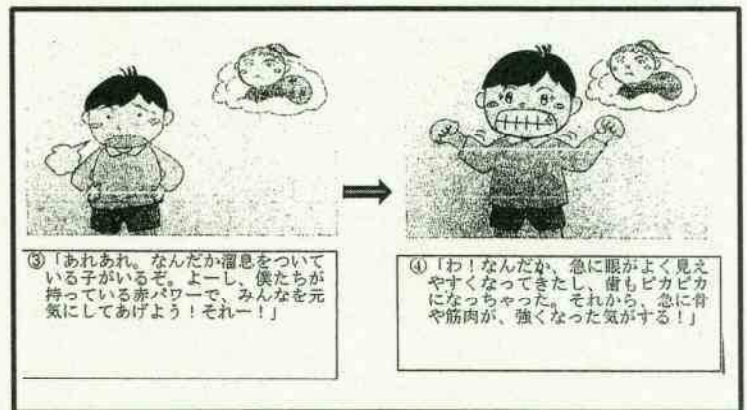
また、話し合いも友だちの話聞き合う場や少人数で話し合う場と変化をもたせることで、充実していったということです。「今まで野菜を食べるのは一口だったけど、二口食べられるようになりました。」と「めあてカード」に実践を振り返る活動も報告されました。担任や学校栄養職員のコメントも子どもたちの意欲づけになりました。

給食時間のクイズタイムは自分たちの生活について考える機会になったということです。

研究協議では、食べ物を3色に分けることが紙芝居のおかげでうまく結びついた、手作り紙芝居のよさがあった、栄養面が重視されがちだが、クイズなどの時間が人間関係をスムーズにする効果もあった、などの意見が出されました。

指導講評は、川崎市総合教育センターの小堤紀子指導主事からありました。食環境の変化の中で、何をどのように食べるのがよいのか、今の子どもたちに必要な視点があった、大好きな給食を扱っていることで意欲につながっている、資料も興味関心をもつもので紙芝居は視覚に訴えるインパクトがあった、との話がありました。

なお、資料として、麻生小「いろいろたべよう パート1」、宮前平小「いろいろたべよう パート2」、宮崎台小「牛乳パワーで元気いっぱい」、登戸小「いろいろ食べよう」、下河原小「自分で朝ご飯」のそれぞれの実践例が紹介されています。



## 日本の学校給食と清掃

終了後、「日本の学校給食と清掃」の演題で、前川崎市総合教育センター所長 江間薫氏の講演がありました。冒頭に埼玉県の小学校の給食の様子が動画で流れました。これはカナダの教育関係者に紹介されるものだそうです。ランドセルに学習用具を入れる他に、給食用のナフキン、おはし、歯ブラシ、コップを用意して登校します。給食の準備、後片付けも当番の子どもたちが服装を整え、慣れた手つきで活動しています。日本の学校給食は、ただ昼食をとるだけのものではなく、教育の一環になっている主旨が具体的に理解できます。給食当番や清掃当番など集団活動を通してルールやマナー、勤労の態度を培うということは外国の人にとって驚きになるという話がありました。

また、食育の指導計画はすべての教育活動を通じて立てられることが望ましく、検証して常に見直しを図っていくことがとても重要との指摘がありました。最後に、参加者数人ずつの小グループで議論する場がありました。テーマは子どもたちに育てほしいと思われる能力や態度を3つ付箋に書いて、その理由も含めて、話し合うというものでした。短時間ではありましたが、どのグループも熱心に取り組んでいました。後日、コミュニケーション力に関わること 57%、精神力に関わること 33%、その他の生活面 10% であったという付箋集約(104名分)の情報もいただきました。

大寒の前日で外はたいへん寒い日でしたが、研究協議も講演会も熱い気持ちが会場にあふれ、充実した時間となりました。